

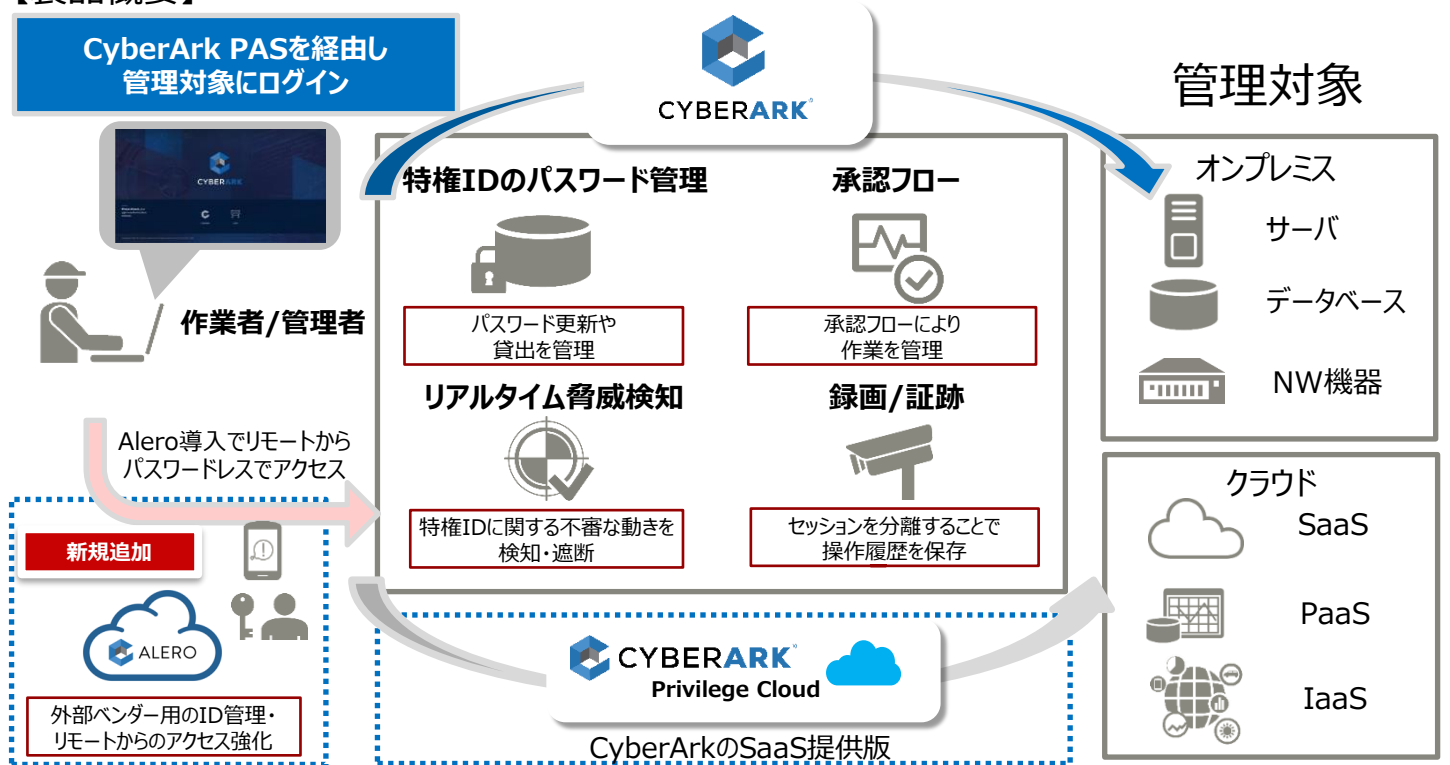
ID CyberArk Privileged Access Security (PAS)

こんなお悩みありませんか？

- 特権IDの使い回しが運用課題になっている
- 特権IDのパスワード貸出や変更が手動での運用となっている
- サーバやクラウドサービスで何の作業が行われているか分からない
- SaaS・IaaSなどにも特権管理・アクセス制御を取り組む必要がある

富士通の CyberArk PAS なら悩みを解決

【製品概要】



特権IDの管理

個人IDと特権IDの紐付けにより、オンプレミス・クラウドに関わらず作業者を特定し、ユーザ単位で制御できます。

特権IDの認証基盤を整備

特権IDのパスワードの貸出や変更を自動的に実施することで、セキュリティレベルの向上だけでなく、運用負荷を軽減できます。

特権IDのリアルタイム確認

監査用のログを残すだけでなく、不正アクセスの兆候や行為をリアルタイムに検知し、防御することができます。

拡大する管理対象への対応

サーバやネットワーク機器、データベースだけではなく、クラウドやアプリケーション、RPA、DevOps環境などに対応できます。

導入事例 特権IDの認証基盤の整備

導入前

・非効率なID払い出し管理

- ・サーバへの作業申請があるごとに管理IDを作業者に貸出
- ・管理IDのパスワードは手動で定期的に変更

・エビデンスの管理が煩雑

作業終了後に作業者から作業エビデンスとして、コマンドログや操作画面のスクリーンショットを提出させる運用

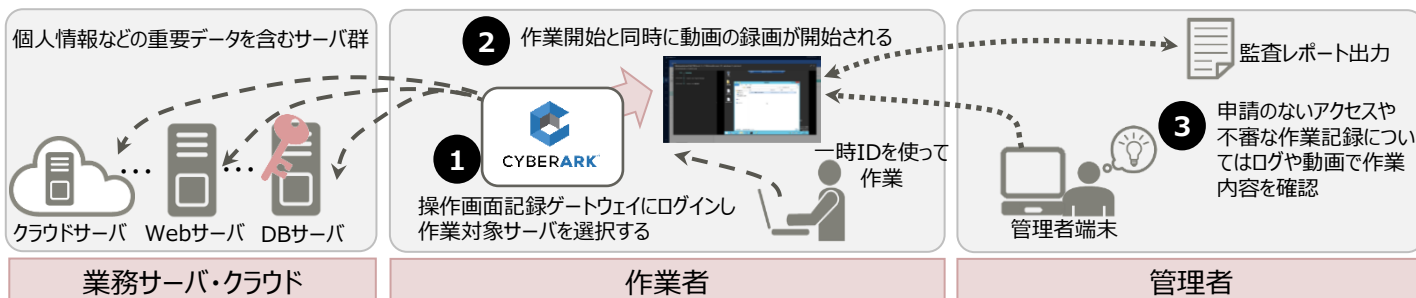
導入後

・効率的かつセキュアなID払い出し管理を実現

日時、作業時間を限定し、管理IDを払い出すことで、パスワードを変更する管理工数を削減
作業者に管理IDのパスワードを教えないセキュアな運用を実現

・確実に簡単なエビデンス管理

払い出しIDの操作内容はすべて動画で記録
(作業者からの作業エビデンス取得作業が不要)
また、作業者によるエビデンスの改ざんの心配も払拭



導入効果

- ①セキュリティ施策の強化
- ②NISTガイドラインへ対応
- ③監査対応

拡張効果

- 管理対象の追加による統制の拡大
- 作業者の追加による統制の拡大
- 不正な行為の検知・防御を実現

【モジュール構成】

CyberArk PASは、Enterprise Password Vault(EPV)を中心に選択機能と追加機能で提供されます。

ソフトウェアライセンスの提供形態のため、別途ハードウェアとOSが必要になります。(PTAは、仮想アプライアンスです。)

<p>◇ Enterprise Password Vault(EPV) 基本パッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> Vault CyberArk PASが管理するすべての設定・データ・ログを保持 Central Policy Manager(CPM) CyberArk PASの特権ID管理機能(パスワード変更等)を提供 Password Vault Web Access(PVWA) CyberArk PASのWebインターフェイス画面を提供 	<p><input type="checkbox"/> Privileged Session Manager (PSM) 監査の取得や不正コマンドのブロックを実現する機能</p> <p><input type="checkbox"/> SSH Key Manager (SSK) 特権IDとSSH鍵の管理する機能</p> <p><input type="checkbox"/> Privileged Threat Analytics (PTA) 特権IDを利用した不審な活動の検知と通知を行う機能</p> <p>選択機能</p>
<p><input type="checkbox"/> CyberArk Privilege Cloud (pCloud) CyberArk環境がクラウド上で準備されたSaaS提供版 ※CORE PASと比較して一部機能制限がございます。</p> <p>CYBERARK Privilege Cloud</p>	<p><input type="checkbox"/> Application Identity Manager (AIM) アプリケーション等に埋め込まれた特権IDの管理する機能</p> <p><input type="checkbox"/> On-Demand Privileges Manager (OPM) 特権IDで利用できるコマンドを制御する機能</p> <p>追加機能</p> <p><input type="checkbox"/> CyberArk Alero 外部ベンダーや遠隔地の従業員へ、迅速・簡単・安全に特権リモートアクセスを提供できるクラウドサービス</p> <p>新規追加</p>

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2020年2月現在のものです。

お問い合わせ先

富士通株式会社

富士通コンタクトライン (総合窓口)

0120-933-200 (通話無料)

受付時間：平日9時～17時30分 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)